



インタビュー企画

今回は、発達障害コミュニケーション上級指導者とコミュニケーション検定1級取得者の方へのインタビューを掲載いたします。ぜひ、資格取得の参考にしてみてください!



コミュニケーション検定1級取得者

高橋さおり様

Q1 コミュニケーション検定講習会に参加したきっかけは何ですか

息子が虹の子どもクリニックを受診した時に、コミュニケーション講習会のリーフレットを見て興味を持ち親子で参加しました。

Q2 1級資格を取得しようとした理由はありますか

最初は、息子と良好な関係を築きたくて講習会に参加していましたが、仕事や家庭、地域、ネット上のやり取りの中でも心温まるコミュニケーションが必要であり、人と人との信頼関係(ラポール)を学びたいと思い資格を取得しました。**モチベーションは何でしたか**

講習会の方々とのお会いです。「二期一会」出会は偶然ではなく必然です。

Q3 1級講座の内容で、いちばん印象に残っているものは何ですか

「褒める・認める・大事にする」は、子どもだけでなく大人にとっても必要なことだと印象に残りました。自分にも、「褒める・認める・大事にする」を心がけるようにしています。

Q4 資格を日常生活や仕事にどう生かしていますか

私は、社会福祉協議会の自立相談支援員として仕事をしています。面談時には、相手との信頼関係を築きながら話に

耳を傾けて内容を整理し、相手がどのように見えているのか、どのように聞こえているのか、どのように感じているのかを読み解きます。潜在意識に働きかける質問(ポジショニング・タイムライン・ニューロロジカルレベルなど)を使って、その方がもっている資源で使えるものはないかを提案し、本人が納得のいく答えを導くよう心がけています。

Q5 資格を取得したことで、日常生活や仕事をする上で何か(どんな)変化がありましたか

自分にはどのような価値観や信念があるのかを知ったうえで、相手にレッテルを貼らずにまっすぐな気持ちで対応することを意識し、相手の考えを否定せず物事を柔軟に捉えることができました。

初回講座受講時の職種: 社会福祉協議会の自立相談支援員

現在の職種: 社会福祉協議会の職員

Q6 学び続けるにあたって、どのように資金・受講計画を立てていましたか、工夫したこと等ありましたら教えてください

コミュニケーション検定の年間スケジュールを見ながら資金・受講計画を立てて講座を受けました。最初は、5級の講座が終わっており相談したところ、どの講座からでも始めることができると



発達障害コミュニケーション上級指導者

宮下佳子様

Q1 発達障害コミュニケーション初級指導者講習会に参加したきっかけは何ですか

息子が発達障害で小学校生活大変苦勞しましたが、とても良い形で卒業しました。学校との関わり方や医療連携など、経験と感謝の気持ちから何か恩返しが出来ないか?と思い、河野先生に相談したところ普通の主婦でも大丈夫と言っていたので参加を決めました。

Q2 初級・中級と学ばれて、更に上級指導者資格を取得しようとした理由やモチベーションは何でしたか

教員免許もないただの主婦が、学校現場へ入ってお手伝いさせて貰っていたのでどこか後ろめたい気持ちもありました。上級まで取得し、情報や知識を持ってこれるまで以上に先生方や保護者に安心していただけるかな。と思ったからです。

Q3 上級講座の内容でいちばん印象に残っているものは何ですか

就労支援場面での個別支援計画書作成、西村浩二先生の講座です。まだ経験体験したことのない世代の講座で、私も支援学級の保護者もこの先どんな選択肢があるのか知りたい。でも情報がない。という状態だったので、非常に参考になりやすい講座でした。

Q4 資格を仕事にどう生かしていますか

学校現場では教職員が多様な子ども達に

聞いたので、気になる講座から受けました。(試験は順番に受ける必要があります。講座は、順番に受けられた方が、わかりやすい方もいるかもしれませんが。)

Q7 有効期限内(5年間)に学ばれた再受講講座や他の講座で、どのような気づきがありましたか

再受講でも受講者の状況に合わせた講座にされるので、毎年1級は受けるようにしています。同じ講座でも自分の置かれている状況や環境の変化で受けとめ方・気づきが違うことがわかります。他の講座では、新しい発見、学びがあります。

Q8 AMWECのコミュニケーション検定講座を学び続けていちばんよかったことは何ですか

過去の自分を認めることができ、今の自分が頑張っていることを感じながら、将来の自分の未来に期待することができ

Q9 コミュニケーションについて、これから学びたいことは何ですか

相手も自分も幸せになるコミュニケーション術をさらに深めたいです。

Q10 1級講座を今後学んでみたい方へひとことお願いします

まずは、一歩踏み出してください。必ず違う景色が見えると思います。あなたの将来は、無限の可能性を秘めています。

悪戦苦闘し疲弊していますが、その対象となる子ども達とも関わらせていただきコミュニケーションをとっています。教職員へは「褒める・認める・大事にする」非言語コミュニケーション、保護者との関わり等を伝えています。

Q5 資格を取得したことで、仕事をする上で何か(どんな)変化がありましたか

児童との関わりはより深く信頼関係ができ、保護者面談や相談、関係機関との連携にも教員と参加するようになりました。

初級受講時の職種: スクールサポーター

現在の職種: 教育補助員

Q6 学び続けるにあたって、どのように資金・受講計画を立てていましたか、工夫したこと等ありましたら教えてください

初級講座受講当時は我が子たちが小さかったため、旦那とのスケジュール調整をしていました。資金はかなり厳しいものですが、未来投資?ということで見出し

Q7 有効期限内(5年間)に学ばれた再受講講座や他の講座で、どのような気づきがありましたか

毎度緊張しますが、魂魔塾と上級指導者交流会は同じ方向を向いている仲間の集

Q8 資格を今後どんな人に取得してほしいですか

ほぼ全ての方に役に立つ資格だと思えますが、特に教職員には就労支援などの情報を持っている方が少ないので取得して欲しい気持ちはあります。

Q9 発達障害について、これから学びたいことは何ですか

上級指導者交流会などで、講師の方々の現場であった事例や上級者の方々が苦労していること、逆に成功事例などいろいろな現場支援のパターンをたくさん学び、自分の脳の引き出しを増やしていきたいです。

Q10 上級指導者講座を今後学んでみたい方へひとことお願いします

中級まででも大変楽しく興味深い講座ですが、上級は更に幅広くより専門的に学ぶことのできる講座です。同じ方向を向いた仲間が増えることを楽しみにしています。